

事務事業名		大船渡市水道事業運営審議会開催事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業
政策体系	政策名	04 潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間	
	施策名	20 良好な生活空間の創造		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～)	
	基本事業名	02 上水道・簡易水道の整備		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令		大船渡市水道事業運営審議会規則		予算科目 会計 款 項 目 事業 水道 01 01 04	
所属	部課名	水道事業所		事務事業区分	
	課長名	大浦 公友		A 政策事業 B 施設整備	
	係名	庶務係	電話 0192-27-3111	C 施設管理 D 補助金等	
	担当者	新沼 秀樹	内線 205	E 一般(A～E以外)	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
本事業は、水道事業の基本計画、条例の制定又は改廃、水道料金、予算及び決算に関すること等について、審議会を開催して調査協議し意見を徴する事業である。 委員は10人(学識経験者3人、水道使用者7人 ※H24.10.1～)で任期は2年。 審議会は、通常年2回程度開催する。 主な業務は、委員の委嘱、連絡調整、各種資料等の作成である。 事業費は、委員報酬及び費用弁償である。				総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 水道料金の改定について協議するため、令和元年度においては、審議会を4回開催した。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 2回開催予定。決算の概要、収納状況、予算案及び中期経営計画の進捗状況等について、委員から意見を徴する。	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 水道事業運営審議会開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 水道事業運営審議会開催回数	回	イ		ウ	
名称	単位								
ア 水道事業運営審議会開催回数	回								
イ									
ウ									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 水道事業運営審議会委員(平成24年度に定員12人から10人に改正)	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カ 審議会委員数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	カ 審議会委員数	人	キ		ク	
名称	単位								
カ 審議会委員数	人								
キ									
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 水道事業の運営について、意見や提言をいただく。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サ 委員の意見、提言等数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	サ 委員の意見、提言等数	件	シ		ス	
名称	単位								
サ 委員の意見、提言等数	件								
シ									
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 水道事業の円滑な運営が図られ、安全・安心な水道水が安定して供給される。									

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">投入量</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="6">年度</th> </tr> <tr> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>元年度(実績)</th> <th>2年度(目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>109</td> <td>103</td> <td>108</td> <td>102</td> <td>202</td> <td>108</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>109</td> <td>103</td> <td>108</td> <td>102</td> <td>202</td> <td>108</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>70</td> <td>70</td> <td>70</td> <td>70</td> <td>140</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>280</td> <td>280</td> <td>280</td> <td>280</td> <td>560</td> <td>280</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>389</td> <td>383</td> <td>388</td> <td>382</td> <td>762</td> <td>388</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤活動指標</td> <td>ア</td> <td>回</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥対象指標</td> <td>カ</td> <td>人</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑦成果指標</td> <td>サ</td> <td>件</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>20</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		投入量	単位	年度						27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(目標)	事業費	国庫支出金	千円							都道府県支出金	千円						地方債	千円						その他	千円						一般財源	千円	109	103	108	102	202	108	事業費計(A)	千円	109	103	108	102	202	108	人件費	正規職員従事人数	人	6	6	6	6	6	6	延べ業務時間	時間	70	70	70	70	140	70	人件費計(B)	千円	280	280	280	280	560	280	トータルコスト(A)+(B)	千円	389	383	388	382	762	388	⑤活動指標	ア	回	2	2	3	2	4	2	イ								ウ								⑥対象指標	カ	人	10	10	10	10	10	10	キ								ク								⑦成果指標	サ	件	10	10	12	10	20	10	シ								ス							
投入量	単位			年度																																																																																																																																																																					
		27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(目標)																																																																																																																																																																		
事業費	国庫支出金	千円																																																																																																																																																																							
	都道府県支出金	千円																																																																																																																																																																							
	地方債	千円																																																																																																																																																																							
	その他	千円																																																																																																																																																																							
	一般財源	千円	109	103	108	102	202	108																																																																																																																																																																	
事業費計(A)	千円	109	103	108	102	202	108																																																																																																																																																																		
人件費	正規職員従事人数	人	6	6	6	6	6	6																																																																																																																																																																	
	延べ業務時間	時間	70	70	70	70	140	70																																																																																																																																																																	
	人件費計(B)	千円	280	280	280	280	560	280																																																																																																																																																																	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	389	383	388	382	762	388																																																																																																																																																																	
⑤活動指標	ア	回	2	2	3	2	4	2																																																																																																																																																																	
	イ																																																																																																																																																																								
	ウ																																																																																																																																																																								
⑥対象指標	カ	人	10	10	10	10	10	10																																																																																																																																																																	
	キ																																																																																																																																																																								
	ク																																																																																																																																																																								
⑦成果指標	サ	件	10	10	12	10	20	10																																																																																																																																																																	
	シ																																																																																																																																																																								
	ス																																																																																																																																																																								

事務事業ID	0314	事務事業名	大船渡市水道事業運営審議会開催事業
--------	------	-------	-------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	水道事業の円滑な運営を図るため、昭和49年10月に設置。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	以前は、主に水道施設の整備等の審議がなされていたが、近年は、水道の普及促進や水道経営に関する審議が多くなっている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	委員から、委員の一部を公募すべきとの意見があり、平成21年度以降、水道使用者委員を公募(女性1~2人)している。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかないか？意図することが結果に結びついているか？ 水道事業への意見、提言をいただくことで事業の円滑な運営が図られ、市民に安全・安心な水道水が安定して供給される。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 市の水道事業に係る審議会であるため、市が行う必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 対象、意図ともに妥当であり、限定・追加等の必要はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 審議資料に用語解説など、分かりやすい説明に努めているが、今後も説明の方法や資料調製の方法等について、工夫する余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 審議会委員との協議及び意見聴取等の場がなくなり、水道使用者の声を事業運営に反映できなくなる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 委員報酬と費用弁償のみであり、これ以上の削減余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど) 会議資料の作成及び開催に係る人件費であり、これ以上の削減は困難である。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 最終的には水道料金に転嫁されており、適正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																				
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上				維持		●	×	低下		×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
向上																					
維持		●	×																		
低下		×	×																		
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																					
審議会は、決算、予算及び中期経営計画の進捗状況等について協議するため、2回開催した。委員からは、質疑や意見等がなされたが、特定の委員からの発言が多い傾向にある。(他の委員の発言が少ない)																					

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	各分野における水道使用者のご意見を伺いながら、今後の事業運営に生かしていきたい。